

SUN なな×ト。

学ぶことで世界は広がる
「学びたい」その想いに
一筋の光を照らして



ラジオ・ハニーFMでもっと詳しく聴けます！【10/18 15時10分～】

特定非営利活動法人
みかづき 理事長
谷生 禎章さん
Sadaaki Taniu 屋敷町

「『自分の未来のために勉強がしたい！』そう思っている子どもたちの想いに寄り添い、人生をよりよくするためのお手伝いがしたいんです」力強く語るのは谷生禎章さん。塾業界で働く中で、月謝を払えずに塾に行かせられない家庭や塾を辞めざるを得ない家庭を目の当たりにしてきた。2020年11月、経済的理由で塾へ通うことが困難な子どもたちに無償で勉強を教える「みかづき」を開いた。「私、学校教育が太陽だと思ったら、塾は月のような存在になると思うんです」森絵都の小説「みかづき」の一文に心惹かれ、その名をもらった。間もなく通い始めた中学生がいた。「中学を卒業したら働こうかな。でも…やっぱり高校に行きたい」子どもを預かるということは、その子の人生を預かること。一人一人の想いに耳を傾け、それぞれに合った指導を大事にしている。本人の努力もあり、無事志望校に合格。高校進学を諦めていた子が大学進学を目指して現在も「みかづき」に通う。「学ぶことは自分の持つ可能性を拡げ、世界観を創っていくということ。おかげさかもしれないけど、ここに来てこの子の人生は変わりました。一緒に道を切り開くことができ嬉し」と表情を緩ませる谷生さん。活動を始めて約2年。経済的事情以外にも困っている子どもたち



■谷生さんが通っているキックボクシングジムの会長のほらひであき野原 秀昭さん

谷生さんは目先のメリットや自分のことよりも、人のことを優先される人。そして人を巻き込む力があります。子どもたち一人一人の想いに向き合う姿から大事にされている想いが伝わってきます。

じかに見てきた。学校に行けなくなった子、親の看病や介護、兄弟の面倒を見るヤングケアラー、母語が日本語でない子どもなど。「本当に困っている子どもたちって誰なんだろう——」自問自答する日々。でもたどり着くのは「困っている子どもたちを助けてあげたい。学びたい気持ちを持つてあげたい」ただその思いだった。「困ってたらいつでもおいで」今後は経済的事情以外でも困っている子どもたちを受け入れていく予定だ。

一方、いつかは「みかづき」のような場所が必要ない社会になってほしいとも願う。「活動しながら常に矛盾を抱えているんです。困っている子どもたちを社会全体で支えられるような仕組みができれば」そのためにもまず全国に活動を広げていくのが目標だ。子どもたちの想いの架け橋となり、未来に一筋の光を照らして。

消費生活情報



それ、「デート商法*」かもしれません！

(事例) 3日前、マッチングアプリで知り合った男性とカフェで会った。その際、男性が勤務する宝石店へ案内され、50万円のネックレスを勧められた。断り切れずに購入したが契約をやめたい。

*事業者が販売目的を告げずに消費者を呼び出し、恋愛感情を利用して高額な契約をさせることをデート商法といいます。



アドバイス

- ①デート商法は特定商取引法の訪問販売(アポイントメントセールス)に該当し、契約書を受け取った日から8日間はクーリング・オフ(契約解除)ができます。
- ②クーリング・オフは定められた期間内に書面(ハガキなど)か電磁的記録(電子メールやクーリング・オフ専用フォームなど)で事業者へ通知します。
- ③通知する内容はコピーや画面のスクリーンショットなどで必ず証拠として保存しておきましょう。

三田市消費生活センター(559-5059 FAX 563-8001)
相談受付=月曜~金曜、第2・4土曜 10時~17時
休所の場合は「消費者ホットライン」188番(いやや!)

防災・防犯・交通安全



犯罪のない、安心して暮らせるまちを目指して

10月11日~20日は、「全国地域安全運動」を実施！地域安全活動に対する意識を高めるため、街頭啓発や防犯講座などを行います。

地域安全活動とは

誰もが安全で安心して暮らせる地域社会を実現するため、地域の皆さんと防犯協会、警察などが一層協力を深め、地域での子どもの登下校時の見守り活動など、地域ぐるみで犯罪の防止に取り組んでいます。

安全安心まちづくりキャンペーン

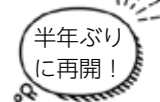
- 日時= 10月16日(日) 14時~15時30分
場所= イオン三田ウッディタウン店
※雨天の場合は中止
- 内容=
- ・街頭キャンペーン(啓発物の配布)
 - ・兵庫県警音楽隊(芦屋警察学校)の吹奏楽演奏
 - ・パトカー、白バイなどの展示

問い合わせ=三田警察署(563-0110 FAX 562-0110)

共生



手話にチャレンジ！
「四季」の手話を学ぼう



今月は「四季」の手話です。手話は聞こえない人と聞こえにくい人とコミュニケーションを図るための第一歩。皆さんも一緒にやってみましょう！
問い合わせ=障害福祉課(559-5075 FAX 562-1294)



春 下から上に 回す	夏 うちわを 仰ぐように
秋 手前に引く	冬 ふるえる ように

消防・救急・救命



新人消防士、現場に配属！

今年度採用の新人消防士が半年間の研修を終え、現場に配属！経験を重ね、一人前の消防士になっていきます。

武本 茉佑さん 	【消防士を目指した理由】 人の役に立ちたいという思いがあり、人の命を守る事で他者に貢献したいと思ったからです。 【今後の目標】 常に自分磨きを怠らず、市民の方々や職場の方々に頼られる消防職員になりたいです。
池田 駿吾さん 	【消防士を目指した理由】 小学1年生の頃に出会った救急救命士の隊長と写真を撮ってもらい、こんな思いやりのある消防士になりたいと思ったからです。 【今後の目標】 救急救命士の資格を活かして1人でも多くの市民の方々の命を救いたいと思っています。
西瀬 康祐さん 	【消防士を目指した理由】 三田市消防本部の方々の活動を見て憧れを抱き、自分の生まれ育ったこの街で消防士になりたいと思ったからです。 【今後の目標】 多くの技術、知識を身に付け、1日でも早く一人前の消防士になり、市民の方々に助けたいです。

問い合わせ=消防本部総務課(564-7302 FAX 563-1230)